

ラテン・アメリカ／光と影の詩（1992）

EL VIAJE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アルゼンチン／フランス
色彩 Color
時間 140分
初公開日 1995/04/15
公開情報 ヘラルド＝ヘラルド・エース

【解説】
アルゼンチンの名匠フェルナンド・E・ソラナスが、地球の遺産ともいべき大自然を圧倒的な映像世界に包み結晶させた一大映像叙事詩。高校生のマルティンは父を探すべく、メキシコまで5000キロの旅にでる。彼はその旅を通し、未知なる風景、失われたインカ帝国、マヤ文明の廃墟、秘められた略奪の歴史などに出会ってゆく。音・映像・詩の洪水と共に心にしみ込む様な詩的世界。本作はこの美しい映像の奥にラテンアメリカの慢性的な“政治腐敗”と“経済危機”というメッセージをユーモラスに告発、南米に抱く世界中の幻想を打ち砕いてゆく。と言うのもソラナス監督はこの作品でアルゼンチンの腐敗を激しく批判し続けたため、メナム大統領に名誉棄損で訴えられ、法廷で証言した翌日、狙撃され、負傷したというオマケ付き。観るものを圧倒する幻想とアイロニーとユーモアたっぷりの1本。なおこの作品は、不世出のバンドネオン奏者、タンゴ音楽の革命児アストル・ピアソラの遺作ともなっている。

【クレジット】
監督 フェルナンド・E・ソラナス Fernando E. Solanas
製作 エンヴァール・エル・カドリ
脚本 フェルナンド・E・ソラナス Fernando E. Solanas
撮影 ロベルト・H・マテオ
音楽 エグベルト・ギスモンティ Egberto Gismonti
アストル・ピアソラ Astor Piazzolla
フェルナンド・E・ソラナス Fernando E. Solanas
出演 ウォルター・キロス Walter Quiroz
ドミニク・サンダ Dominique Sanda
ソルダード・アルファロ Soledad Alforó
クリスティーナ・ベセラ Christina Becerra
マルク・ベルマン Marc Berman
カルロス・カレッラ Carlos Carella
アティリオ・ヴェロネッリ